

(別紙第1)

事業の内容及び経費の配分

1 申請企業概要

① 企業名				
② 代表者 職・氏名 (※1)	職			
	ふりがな			
	氏名			
	年齢	年	月	日生(歳)
③ 創業・設立	創業	年	設立	年
④ 本社所在地	〒			
⑤ 資本金		千円		
⑥ 従業員数(※2)	人			
⑦ 直近売上高	千円 (年 月期)			
⑧ 業種(中分類)				
⑨ 企業の特徴 (事業内容など) 80~100 文字程度				

※1 代表者の職・氏名は、「採択・不採択通知」等に記載いたします。

※2 従業員の数に、会社役員(従業員との兼務役員は除く)、個人事業主本人および同居の親族従業員、日々雇い入れられる者、2ヶ月以内の期間を定めて使用される者、季節業務に4ヶ月以内の期間を定めて使用される者、試みの使用期間中の者は含まれません。

2 直近3年間で採択、もしくは申請中、申請予定の設備導入に関する補助金・助成金等 (補助金名称、交付機関名称は略称でも可)

年度	補助金・助成金 等名称	交付機関名	購入(予定)の 設備名	補助金額 (千円)	状況
例 R5	ものづくり補助 金	経済産業省	NC 旋盤	10,000	採択・申請 中・申請予定 から1つを選 択

3 現在の課題

- ・原油価格や原材料等の高騰による影響
- ・既存設備の概要
- ・省エネ、コスト等に関する課題(業界特有の課題、申請企業における課題)をご記入ください。

4 本事業において開発又は導入を予定している設備の概要

設備の概要

開発又は導入する設備 (型番があれば記入)	
設備を開発又は導入する 事業所の所在地	

5 取組内容と達成されるコスト削減効果

(1) 今回の取組内容

設備の開発又は導入等による取組内容、効果等を中心に記載してください。

- ・業界特有の課題解決に資する内容
- ・他企業に波及しやすい取組内容
- ・生産性向上など経営の効率化に寄与する内容 など

(2) 達成されるコスト削減効果の数値目標

「省エネ効果」がわかる表を作成し、表の下には算出根拠を記入してください。

	更新前①	更新後②	削減量①－②
年間のエネルギー 使用量・削減量 (原油換算 or 電力換算)			
年間のエネルギー コストと削減量(円/年)			
投資回収にかかる期間 (年)			

算出根拠の例

記載例: 空調設備の入れ替えにより、冷房能力の向上と消費電力の削減を実現

年間消費電力: 24,000kWh (1日 8h稼働×300日×消費電力 10kW)

→ 4,800kWh (1日 8h稼働×300日×消費電力 2kW)に削減

年間電気料金: 528,000円 (24,000kWh×22円/kWh)

→ 105,600円 (4,800kWh×22円/kWh)に削減

(422,400円/年 削減)

投資回収にかかる期間: 補助対象経費総額 200万円、補助金 100万円の場合

$(2,000,000 - 1,000,000) \div 422,400 \approx 2.4$ 年

6 経費の配分

総事業費	財源内訳	
	白山市補助金	自己資金等
<i>20,000,000</i>	<i>5,000,000</i>	<i>15,000,000</i>

合計: *20,000,000* 円 $\times 1/2 = 5,000,000$ 円

交付申請額: *5,000,000*円

※1円未満の端数がある場合はこれを切り捨てた額

総事業費と白山市補助金の
差額を記入してください。

※青字の斜体は記載例です。提出の際には消してください。